

## 【記載例】

別記群地基様式第1号

## 公務傷病等診断（施術証明）書

氏名	群馬 県太郎	(生年月日)	昭和55年10月1日
災害発生日	令和〇年〇月〇〇日	初診日	令和〇年〇月〇〇日
傷病名	右膝内側半月板損傷		
初診時の問診所見	・ 部活動指導中、ジャンプして着地する際に右膝をやや捻ってしまい、痛みが走ったとのこと。 ・ その後、歩行困難な程度の痛みが継続。 ・ 約3年前、家族でスキー旅行へ行った際に同部位を負傷した経緯有。		
検査内容	X線	MR I	血液 その他 ( )
検査所見	・ 右膝内側半月板後節に線上の高信号が認められ、表面に達していた。 ・ 骨に異常は無し。		
症状、治療内容、今後の見通し			
----- 関節内注射、リハビリにより経過を観察し、状況によっては鏡視下手術も検討。 -----			
療養見込期間	令和〇年〇月〇〇日	から	約2ヶ月 日 (見込)
負傷・発症原因についての所見 (いずれかに○。単純な外傷などの場合は記載不要です。)			
1 被災職員に素因・基礎疾患は無く、災害発生状況に照らして傷病の内容・程度も医学的に妥当であることから、当該災害が原因となって負傷・発症したものとする。			
2 被災職員に明確な素因・基礎疾患は無いものの、災害発生状況に照らして傷病の内容・程度が過大であることから、被災職員の有する何らかの素因・基礎疾患が原因となって負傷・発症した可能性が否定できない。			
3 被災職員に素因・基礎疾患が認められるが、災害発生状況に照らすと当該災害により症状が急激に増悪したものとする。			
4 被災職員に素因・基礎疾患が認められ、それが主な原因となって負傷・発症した可能性が高い。			
[自由記載欄] 年齢的に今回の動作のみで半月板損傷に至る可能性は低いものの、 ----- スポーツによる着地動作が素因を悪化させたものと思われる。 -----			
上記のとおり診断（証明）します。			
		令和〇年〇月〇〇日	
所在地		高崎市〇〇町XXXX-X	
(医療機関等) 名称		高崎第二整形外科医院	
医師等氏名		高崎 二郎	

※ この文書料は、災害が公務又は通勤によるものと認定された場合、療養費と併せて請求してください。(2,000円(非課税))